

開会 令和3年9月28日
閉会 令和3年9月28日

足利市教育委員会定例会

足利市教育委員会

令和3年第14回足利市教育委員会定例会会議録

足利市教育委員会 教育長 須藤 秀幸は、令和3年9月28日、令和3年第14回足利市教育委員会定例会を足利市役所に招集した。

- 1 出席委員は、次のとおりである。(5名)

教育長

須藤 秀幸

教育委員

笠原 健一	市橋 雅子
照本 夏子	木村 知巳

- 1 会議事件の説明に出席したのは、次のとおりである。

教育次長	岡田 和之	教育総務課長	菊川 博士
生涯学習課長	石井 邦弘	市立図書館長	丸山 由美子
学校管理課長	清水 信博	文化課長	柏瀬 美奈子
史跡足利学校所長	立野 公克	市民スポーツ課長	落合 敏明
国体推進課長	植木 勲	学校教育課長	近藤 忠
青少年センター所長	渡邊 賢介	学校給食室長	田代 介之
市立美術館長	片柳 孝夫	総括主幹	腰高 浩

- 1 本委員会の書記は、次のとおりである。

蓼沼 康浩

- 1 傍聴者 2名

本日の会議日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 報告事項について

(教育総務課、青少年センター、文化課)

日程第3 議案第41号

令和4年度「小・中学校職員定期異動方針」及び「小・中学校職員定期異動方針の運用」について

開 会 午後1時26分

須藤教育長

ただいまから、第14回足利市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名について

笠原委員 木村委員

以上のとおり指名することについて、異議なく了承される。

須藤教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい案件があります。

『議案第41号 令和4年度「小・中学校職員定期異動方針」及び「小・中学校職員定期異動方針の運用」について』は人事に関する案件であり、合意形成過程の案件でありますので、非公開にしてもよろしいでしょうか。

ご賛同をいただきましたので、ご異議ないものとし、これについては、非公開として会議を進めます。

日程第2 報告事項についてを議題といたします。説明につきましては、簡潔明瞭をお願いいたします。

(関係課長から説明)

(質疑応答)

須藤教育長

ただ今の報告についてご質問がありましたらお願いします。

【令和3年第6回(9月)定例市議会一般質問及び答弁について

資料No. 1】

市橋委員

20ページのところで意見です。新型コロナウイルス感染症対応についての子供の安全と学びの保障ということで、中島議員さんに対する教育長さんの答

弁のところですが、質問紙調査の「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で、「はい」と答えた子供の割合が2年前と比べてやや下がっていることに対して、「コロナによる臨時休業と子供の学力、意識がどれだけ相関があるのか、今後詳細に分析をし、これからの授業や学校生活に生かしていく」とあります。将来の夢や希望というのは、子供たちにとって、とても大切なものと思います。本当にその通りだと思いますので、ぜひこの点をお願いしたいと思います。

もう一つは22ページです。市長さんの答弁、再質問に対するところで、「まさに有事であると考えている。こういう時だからこそ、『子供達を守るんだ』、『足利市の学校はここまでできるんだ』ということを外内外に示していく、そんな意気込みを具体的な行動として表していかなければいけない大事な時期だと認識している。」という答弁を読ませていただいて、大変強い意気込みと熱い思いを感じさせていただき、大変ありがたいと思いました。どうぞよろしく願います。以上です。

笠原委員

1ページの杉田議員の市長答弁の中にある「足利市通学路安全推進会議」の構成メンバー、組織がどんな構成になっているのかということと、会議は年に何回行っているのかをまずお聞かせください。

学校管理課長

1点目の通学路安全推進会議の構成メンバーでございます。道路が関係しまするので、国道の関係ですと宇都宮国道事務所、県道の関係ですと安足土木事務所、市道の関係ですと本市の道路河川整備課と道路河川保全課がメンバーとなっております。それと学校とPTA、学校管理課、足利警察です。

笠原委員

学校、PTAは市内の全小学校、中学校でしょうか。

学校管理課長

その通りでございます。この推進会議の方に4月当初に改善箇所の要望をいただき、その後危険箇所を確認したりして、大体7月上旬に第1回の担当会議を開きます。それを受け、8月に推進会議を開き、その後合同点検を9月から10月に行いまして、対策を実施させていただいています。

笠原委員

以前にも千葉県の事故の件のことを話しており、その際にヘルメットでの登下校を考えてみる必要があるのではないかとということで申し上げた次第です。

近隣ではないかもしれませんが、この機会なので、お手数をかけてしましますが、ぜひ登下校でヘルメットの着用を実施している市町がありましたら、その事例を教えてくださいたいと思います。なお家庭の負担がどのくらいになっているか、市町等の助成はどうなっているのか、またできればヘルメットの登下校について子供たちや家庭ではどんな評判なのか。

子供がとにかく「行ってきます」と言って、「ただいま」とちゃんと帰ってくるのが最低限、絶対に必要なことであって、それが本人の責任でなく、車が飛び込んでとか痛ましい事故が事例としてあるわけです。それが足利でもいつ起こるか分からないわけで、どうしてもそれだけは避けてもらいたい。

もしかするとヘルメットの役割は、命だけは助かったとなるかもしれないので、事例を調べていただいて、もしやそういうことが必要なのかどうかという議論も必要じゃないかなと個人的には思っています。まずは事例を調べていただきたい、こう思います。

須藤教育長

ありがとうございます。これにつきましては、学校教育課と学校管理課共同で確認をお願いできればと思いますので、よろしく願いいたします。

木村委員

20ページのところで、全国学力・学習状況調査の国語や算数・数学の正答率については、2年前と同等の水準を示しているとのことですが、2年前は県内の平均より上なのか下なのか知りたいです。

もう1点、意見です。26ページのヤングケアラーの件なのですが、私もこういったところはあまり把握していなかったのですが、考えてみると母子家庭とか片親の家庭が増えた中で、こういった環境に陥っている子供たちが、少なからず足利市にもいるのかなというところで、親の病気だったりとかでケアマネージャーとの連携が重要なのかなと思いましたので、子供がしっかりと学びの場であったりとか生活の場を作れる環境を整えられればと思いますので、ぜひよろしく願いします。

学校教育課長

2年前の数字につきましては、今持ち合わせておりませんので、この後正確なものを確認して、またお知らせさせていただきます。よろしく願いいたします。

須藤

先程のヤングケアラーにつきましては、学校教育課を中心にして学校と連携を取りながら、対応していただけるとありがたいと思いますのでお願いいたします。

照本委員

今回新型コロナウイルス感染症の対策についての質問がいくつか出ていますが、それに関するところで、例えば風邪の症状があったりとか、熱が出たということで、児童生徒の保護者から連絡があった時にPCR検査を学校として促したりとか、抗原検査キットを使った検査を促したりとか、そういったことをしているかどうかということと、あとはそういったことを促す基準とかが学校側にあれば、それを教えていただきたいと思います。

学校教育課長

子供たちが発熱した場合において、保護者から連絡があった時に、特に緊急事態宣言下では、まず体調が少しでも風邪かなという時には登校しないで、かかりつけのお医者さんに、まずは相談してみるということでお願いをしています。あとはお医者さんの判断によって、これは風邪だから大丈夫という診断をされる医師の方もいらっしゃいますし、また念のために、受診した際にすぐにPCR検査や抗原検査を受ける場合もあります。

学校としては、まずはかかりつけのお医者さんに相談をしてみてくださいということでお願いをしています。以上です。

照本委員

PCR検査をしている医療機関が分からないという声を結構聞きまして、そういった医療機関の一覧とかは提示したり配ったりということはしているのでしょうか。

かかりつけの医者にかかって、その医者がPCR検査をやっていないという例が結構あるみたいで、その時にどこにいったら良いのかが分からないという声を何件か聞いたものですから。

須藤教育長

基本的には、受診をすると、その病院で検査をできないという医院の場合は、必ずできる病院を紹介してくれることにはなっているかと思います。学校

教育課長が答弁したように、医師の判断で紹介をするか、そこで止まるかということがあると思うのですけれども。基本的に必要があればPCR検査に持っていくことになっています。

照本委員

そういう医療機関を提示していただいた方が行きやすいかなと思いましたが、そのような話をさせていただきました。

岡田教育次長

今のところは、かかりつけ医にご相談くださいというのが医師会の方針です。

笠原委員

17ページの末吉議員の市長答弁の中で、副読本の「のびゆく足利」のことですね。なんとかこれを最新版にしたいという、これは古いですよ。見たら編集したのが22年度とか23年度になっていて、資料だとかデータが10年以上前のものなのですね。もちろん基本的なことは合っていて、内容が問題ということではないのですけれども、やっぱり子供たちにとっては新しい資料だとかデータのもの、当然目に入るとそっちの方が良いかなと思うのですけれども。

そういう中で、実は市民文化財団も新しく作り替えられないかということで考えたわけですが、お願いすべき教育研究所さんですとか学校教育課さんが、それを決めたのが一昨年の秋ぐらいだったと思うので、ちょうどその後コロナ対応が学校も現場も先生方も大変なことです。今はその時期ではないということだったわけなのですが、こうやって市長答弁に入っているくらいですから、これが子供たちにとって、足利の郷土愛ですとか、あるいは社会人になってどこで活躍するにしろ、足利を思い懐かしむ気持ちとか、そういう情感を持てるのは非常に良いことかなと思うので、できればリニューアルした形で読ませてあげたいと思うわけで、そういう中で市民文化財団が役に立つならば、逆に何か良いアイデアがあったら教えて頂きたいなと。

子供たちの郷土愛とか、色々な意味で足利の素晴らしさというのをもう一回気づかせるには良いと思うので、何か良い方法でもありましたらご検討いただいたり助言いただいたり、よろしくお願いします。

市橋委員

いまの「のびゆく足利」なのですけれど、古くなっていないと思うのですよ。その都度その都度資料も改訂して、3年と4年の社会の副読本で、3年、4年は足利市とか県の郷土学習なので、ほとんど副読本を使ってやっていると思うので、多分私も作成に関わったし、教育長さんも関わっているし、古いままというのは…。

笠原委員

ごめんなさい、この後があるのですね。新しいデータになっているのですね。ではすみません。

市橋委員

改訂版でどんどん、そのための委員ができて直していると思うので。

文化課長

市民文化財団ですけれども、この副読本の子供たちへの歴史とか文化財の教育の叙述ということで、文化財団の方から市制100周年の目玉となる事業ができないかということで提案いただいていたものでした。作成に取り掛かる時期に、コロナが猛威を奮いまして、現在こちらは中断しているところです。今後市制100周年で、現在求められるような形で、市民文化財団が何か事業ができないか、また改めて理事会等で諮って参りたいと考えています。以上です。

須藤教育長

ありがとうございます。また何らかの形でお知恵を拝借させていただいたりとかすると、より良い「のびゆく足利」の資料もできると思いますので、その時はよろしく願いいたします。

【令和2年度教育費歳出決算の概要について 資料No. 2】

市橋委員

6ページ、7ページの主要事業の中で、29番のすこやか支援員配置事業ですとか、30番の児童生徒相談員推進事業ですとか、学校に対する人的支援で、これはずっとやっていることではあるのですけれど、学校にとってはとてもあ

りがたい事業で、学校訪問をしますと校長先生から必ず出てくるお話が、とってもありがたいと。このおかげでずいぶん助かっているというお話をお聞きします。

働き方改革ですとか、学校がブラック企業的な部分があったりする中で、足利市の支援として、現場の先生たち、あるいは子供たちにとって大きな支援になっていると思いますので、今後もこの部分は継続してやめないで行って欲しいなというふうに思っております。以上です。

須藤教育長

ご意見としてということで良いですか。

市橋委員

はい、意見です。

笠原委員

5ページの翌年度繰越額の中で、2番目ですね、小学校の学校建設費2億9000万余、4つ目の中学校の学校建設費4300万余、これはその前に補正で組まれた額とほぼ一緒なのですけれども、結果的には6ページの主要事業の状況の中で、11番の学校管理課が、予算現額2億3900万に対して、決算が1億5200万余ということで、差額で8600万ほど減なのです。ところが繰越明許費でいくとそれが約7300万になるわけですから、1300万くらい少ないということになっているのですけれども、1300万はどんな感じだったのかなと。

学校管理課長

5ページ上段、繰越額の小学校費、学校建設費の市立小学校大規模改造事業、こちらについては委員からもご指摘の通り、この額を令和2年度補正で組んだのですが、3年度に繰越ということ。6ページの方に記載されているのは、令和2年度予算計上したものについて、3校で実施したのですけれども、2億3900万は小学校の関係の予算でございますので、これと先ほど申し上げました翌年度の繰越額が連動しております。その下は中学校費ということになりますので、別な予算となります。

今回補正で3月に4344万7千円をつけて頂き、この中学校の分を3年度に繰越させていただいたということで、予算策定時との違いというのは不要という

か、そういう点で相違があるということです。

笠原委員

小学校は、2900万しか繰り越しをしなかった。ところが予算に対しては8600万の減額になってしまったと。8600万、決算が少ないですね。ところが繰越明許費は2900万ですね。ということは、5700万くらいはどこに行ってしまったのでしょうかということです。

学校管理課長

実は繰越した3年度の方の小学校の2900万、これが実は実施校が1校分でございます。従いまして予算がそんなに多く必要ないということでございます。令和2年度の8600万については不要額ということになります。ですから、8600万うちの2900万については必要なのですが、それ以外については必要ないということになります。

笠原委員

それだけの差ができたのは何故なのかですか。

学校管理課長

予算策定の時に事業規模を精査していくのですけれども、最終的に入札の段階になると、さらに精査をしていきますので、実際に入札する時には数字が落ちるというのがその事情でございまして、どうしても不要になるということでございます。

笠原委員

民間人の感覚で申し上げますね。2億3900万かかろうとしたものが、5700万浮くわけですね。もちろん、それは色々な圧縮努力はするのしょうけれども。そうすると、その2億3900万は甘すぎませんかという感覚がありますよね。

教育次長

これについてはですね、国の補助金をもらう関係などがありまして、当初予算では3校載せているけれども、国で9校補助金がついたら、当初予算の方は残しておいて、補正の方でやって不用額にするですとか、色々な方法があります

ので、調べさせて頂きたいと思います。申し訳ありません。あとで詳しく、どの学校を予算で持って、実際やったのはどの学校、これは令和2年度と3年度の繰越の関係もありますので、詳細に調べさせていただきまして、後ほどご回答させて頂ければと思います。

【令和3年足利市成人式の実施について

資料No. 3】

(質 疑 な し)

【新市民会館整備に向けての意見募集について

資料No. 4】

(質 疑 な し)

須藤教育長

それでは質問もないようですので、このことにつきましては、報告として承ることにいたします。

須藤教育長

ここからは、先の決定のとおり、会議を非公開で進めます。

日程第3 議案第41号

令和4年度「小・中学校職員定期異動方針」及び「小・中学校職員定期異動方針の運用」について

(非公開)

須藤教育長

議案第41号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

須藤教育長

それでは以上をもちまして、第14回教育委員会定例会を閉会といたします。

閉会 午後2時42分